

平成 30 年 5 月 31 日

金沢区長

所在地： 金沢区釜利谷南 2-8-1

法人名： 社会福祉法人 すみなす会

理事長： 木下 勝裕



平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書等の提出について

平成 29 年度 横浜市釜利谷地域ケアプラザの事業報告に係る次の書類を提出します。

【施設名】

横浜市釜利谷地域ケアプラザ

【提出書類】

- 1 平成 29 年度 横浜市釜利谷地域ケアプラザ事業報告書
- 2 平成 29 年度 横浜市釜利谷地域ケアプラザ収支予算書及び報告書
 - (1) 平成 29 年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動＞
 - (2) 平成 29 年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書（特別会計）
＜包括・介護予防・生活支援体制整備＞
 - (3) 平成 29 年度 地域ケアプラザ収支報告書 ＜介護保険事業分＞
- 3 平成 29 年度 地域ケアプラザ自主事業報告書・収支報告書
- 4 その他、関連書類

担当：社会福祉法人 すみなす会
横浜市釜利谷地域ケアプラザ
所長 藤井 万里子
電話：045-788-2901
メール：fujii@suminasu.or.jp

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

【施設名】

横浜市釜利谷地域ケアプラザ

1 全事業共通

地域の現状と課題について

釜利谷地区の人口は、28年3月現在31,620人で23年からの5年間で減少しており、世帯数は増加し、世帯規模は縮小する傾向が続いている。高齢化率は28.9%で、市、区の平均を上回っている。高齢化率は5年間で5.1%上昇した。

高齢者世帯の多い地域と子育て世帯の多い地域があり、地域によって生活課題の違いがある。また、地縁関係で成り立っている旧住民層の地域と開発による新住民層の地域があり、地域の特性が多岐に分かれている状況が続いていた。

釜利谷地域の高齢世帯の多い地域は、特に坂道が多い地形であることが多く、外出しづらく、通院、買い物、駅への移動が困難で社会活動が制限されやすい課題がある。また、認知症高齢者の増加が実感されている。

地域の方や地域活動団体より、認知症予防に関する講座依頼が増加しており、認知症に対する関心が高まっている。認知症サポーター養成講座や地域の支援者を対象とした講座を開催し、継続的に支援した。また、地域の中に気軽に通える居場所づくりの相談を地域から受け、地域の自発的な活動を邪魔せず、地域が主体となりながら活動が進められるように、地域の方と共に検討し、情報提供や関係機関へつないだ。今後も地域づくりを通じて介護予防の取組みを進めていく。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

高齢者、子ども、障害者など全ての地域住民の相談に対応できるよう、部署間で協力し、相談者への情報提供を行っている。部署間での情報共有のため、月一回の会議の他、必要に応じて話し合いの場を設けている。個別ケースについてもケース検討を行い、多職種で支える質の高い相談業務を行った。また、情報提供の中で紹介した先でスムーズに手続きが済むよう、必要に応じて他機関へ情報提供を行い、相談内容によって地域の特徴を伝えながら分かりやすい説明を心掛けた。

自主事業や出張講座では、5職種で出向き、講座内容以外の質問でも的確に対応できるよう努めた。同時に地域の方が何に困っているのか情報収集するため、積極的に参加者に話し掛けることを心掛けた。必要に応じて区や関係機関と地域課題について話し合いを行った。

(2) 各事業の連携

地域の現況や課題を、それぞれの立場での取組みやネットワークを活かし、有機的な連携をもって課題解決に取り組んだ。月1回の所長を含めた5職種連携会議を開催し、各部門が把握した課題や地域の情報などを共有し、気になる方については地域包括支援センターにつなげ見守りを行っている。

地域支え合い連絡会、地域ケア会議、医療講演会、暮らしの講座、中高年向き手芸サロン、会食サロン、認知症サポーター養成講座を共催で開催した。また今年度新規の取組みとして、昨年開催した他自治体の「助け合いの仕組みづくり「みまーも」から学ぶ」の講演会后、参加メンバーの地域の方、事業所、専門職でこれからも住み慣れた地域で安心して暮らしていくための取組みの会「かまりやーの」を立ち上げた。5職種それぞれの立場から専門性を活かした意見を出し合い、多角的な視点から釜利谷地域ケアプラザの役割が

より発揮され、充実した会を展開をしている。

地域の活動グループ支援「地域で活動されている団体の交流会（つながりの会）」、「認知症キャラバンメイト交流会」も共催で開催した。

地域包括支援センターと地域活動交流では、今年度も「あんしんして暮らせる10分間講座」と地域出張版の「ちょっとおじゃまします」を月1～2回実施し、「くらしの教室」を2回実施した。地域の方に必要な情報を直接提供する場を増やした。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

地域ケアプラザ管理運営に関する協定書を踏まえ、必要職員を適正に配置している。地域包括支援センターの職員は4名体制となり、よりきめ細かく地域支援に努めた。

法人による階層別研修、人権研修を全職員受講し、29年度はリスクマネジメント、自己理解と他者理解等について学びを深めた。また、非常勤も含めた職員全員が、自己育成シートを作成し、職員一人ひとりが明確な目標をもって業務にあたり、客観的に自己の業務を振り返り専門職として成長できるよう、上席者と面談し個人の目標と課題の把握を行った。

各部署別とケアプラザ全体の年間研修計画に基づき、常勤、非常勤は研修に参加し専門性を発揮し、関係機関と適切に連携をとり、協働して個別支援、地域支援を行い、公正中立を保ちながら能力と資質を持つ人材を育成した。

ケアプラザ研修委員会主催の29年度研修は、「地域ケアプラザ職員としての高齢者虐待防止と人権」についてグループワーク中心の講演会を3月に実施した。

個人情報保護の取組みとして、個人情報漏えい防止チェックシートを非常勤も含め全職員が記入し意識づけをした。(4月) 区役所から毎月送られてくる事故等の発生状況通知を全員に回覧し、職員と共有し意識啓発を行った。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

地域の方々が、福祉・保健サービスや相談支援を身近な場所で総合的に受けられるよう、地域の関係機関・関連団体との関係を深め、より専門的な支援が提供できるよう努めた。

地域と日常の何気ない会話が出来る関係が今後も出来るよう、地域で行われている行事やサロンへ積極的に参加し、地区社協、民生委員児童委員および保健活動推進委員等の会合への参加や事業の共催などを行った。支え合い連絡会での情報交換や、今年度新規で地域活動団体の情報交換の場づくり、「釜利谷認知症キャラバン・メイト交流会」を開催し、情報交換や日頃の悩みや疑問等を話し合うことができた。また、地域の方々、事業所、専門職による「かまりやーの」を立ち上げ、地域のつながり、話し合いの場をつくり、今後支え合いや見守りのネットワークの構築を目指す。

エリア内の小中学校・大学、不登校児支援団体の開催する行事への参加や福祉教育の支援や医療機関、居宅介護支援事業所のケアマネージャー、他ケアプラザとの情報交換会等を開催した。

行政や関連団体・関係機関のみが主体となるのではなく、その先ある地域の方々もネットワークの一つであることにも留意した。

(5) 区行政との協働

第3期地域福祉保健計画推進2年目にあたり、地域支援チームの一員として、区、区社協との地域支援チーム会議、事前打ち合わせや、研修「地域力向上研修」を受け、連携を一層密接にしながら地区の活動を支援し、地区推進連絡会においても役割を果たした。また、地域包括支援センター、地域活動交流、生活支援体制整備の各部署ごとにおいても、区との共催事業や定例会議、個別ケースの共有・支援や地域づくりに関する相談についても協働で取組んだ。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

ニーズの発見や解決に向けての自主事業を展開するとともに、多くの方が出会い知り合える環境づくりを行い、地域住民同士の気づきや助けあいの地域づくりにつなげていくことを目指して事業を展開した。

今年度の新たな取組み

『かまりやボランティアポイント”ひこうき”』

高齢者向けシニアボランティアポイント制度の障がい児者版。これは、地域の声を形にした事業である。障がい児者がボランティア活動を行い、それをポイント化し商品に変えるという制度。この活動を通して対価を得るとともに、身近な社会の仕組みの体験とライフスキル支援を目的としている。

『しあわせのおすそわけ～子育ての不安から期待へ～』

0歳児を持つ母親と妊婦を中心に、子育ての悩みや不安を皆で共有し話し合うことで、子育ての不安を期待に変えていくことを目的とする。また、0歳という早い時期からケアプラザとの関わりを持つことで、長期的な支援につなげるとともに、母親が将来地域の支援者として活躍していただけることを目指している。

『すみなすフェスタお花作りボランティア&団体交流会』

“すみなすフェスタ”で使用するお花紙でのお花作りを貸館利用団体に声掛けしたものの。年齢や体力に関係無くできるボランティア活動であり、地域に根ざしているフェスタの一部分を担うということで、やりがいと施設への愛着につなげている。

『かまりや英語クラブ』

外国語の習得を通じて世界を広げていただくとともに、コミュニケーションの習得や交流の場の提供を目的とした事業である。今年度は、ケアプラザの事業参加者に声を掛け、講師を務めていただいた。障がい児に英語を教えることが初めてであるということから、ケアプラザと二人三脚で形をつくり上げているところである。

『地域包括支援センター、生活支援整備事業との共催事業の充実』

今年度から、“認知症”、“地域づくり等”、“地域での活動グループ支援”に関する事業を、地域包括支援センター、生活体制整備事業、地域活動交流事業と3部門共催とすることになった。それぞれの立ち位置や役割を見極め、より充実した事業展開やサービスの充実に繋がっている。

『地域でできること、私たちにできること～お茶の間なないろ～』

地域の方を対象に、“自分にできること”を中心に話し合い、“地域の助け合いにつなげる”という、地域の方、地区社協、西金沢CPとの共催事業である。単に“助け合い”ではなく、地域ケアプラザとして、この力（特に若い世代）が行政や町内会の活動につながるよう努めている。

『ゴスペル教室』『ピラティス教室』

直接福祉保健に関わりが薄い層の参加が多い週末開催のゴスペル教室、ピラティス教室の参加者は、世代、職業、性別も様々である。他団体への活動参加や合同での活動につながっており、参加者の更なる居場所づくりにもつながっている。貸館利用の少ない週末に開催することで、場所の有効活用とともに社会人やリタイアされた方の地域資源の発掘の場としても機能した。

『地域支えあい連絡会』

行政、区役所、ケアプラザと地域支援者それぞれの立場から現況を聞き合うことで、情報交換の場と顔の見える関係づくりという目的に加え、ゲストという形で健康福祉局や区役所の様々な部門に参加をいただいている。これは単に地域住民への情報提供ということではなく、健康福祉局や区役所の方にも地域の方がいきいき活動されている姿を直に見ていただきたいという思いもある。また、この連絡会は、誰もが自由に発言しやすい環境を整え、インフォーマルな場づくりを心掛けている。

『高齢者』

高齢者が将来孤立しないために、少しでも早い時期から地域と関わり、顔の見える関係を築くことを目的とした。中高年を対象とした手芸サロン“はりねずみのお針箱”では、手芸を教え合う形が確立し、やりがいにつながっている。体操教室や歌の教室においても、

参加者同士の状況確認や情報伝達が自然になされている。これらの事業は、常に複数の常勤職員が関わりをもっているため、参加者の小さな変化の気づきとともに、ケアプラザの職員が参加者にとってより身近な存在となることを目指し、地域包括支援センター協力の下、どんなことでも気軽に相談できる場としても機能している。

『障がい児者』

障がい児によるボランティア活動『放課後活動かまりやクラブ』は、地域ボランティアの支援を得て安定した活動となっている。また、『かまりや英語クラブ』では、障がいの程度や年齢に制限を付けず、また、当事者の付き添いということだけでなく、一参加者としての家族等の参加もあり、“皆で楽しむ”をモットーに開催をしている。また、障がい者対象事業以外のどの事業にも、希望があれば障がい児者の受け入れを行っている。

『子育て』

年齢別、多年代（0～6歳）、多世代と、事業内容も含めて様々なパターンの事業を提供している。

（おはなし会、親子体操、乳児教室、共催による講演会・サロン等・食育）

また、ボーダーの子どもの支援を目的とした事業も引き続き展開している。気になる親子の参加があった場合は、主任児童委員や区役所に連絡を入れている。

『多世代』

『プラレール広場』において、幼児、母親、シニア男性ボランティアが皆で準備し、遊び、片付けを行う、参加型事業を開催している。

『会食サロン“森の小道やまなみ”』

所長、地域包括支援センター、生活支援体制整備事業、地域活動交流の各部署の常勤・非常勤職員と、貸館利用者、地域ボランティア、地域支援者とともに安定した開催を続けている。関係部署の職員全員が関わることで、地域住民との関係を一層身近なものとしている。

『講座・講演会・出張講座』

地域包括支援センターとの共催で、医療講演会、暮らしの教室、認知症関連事業等を開催し、福祉・保健の啓発に努めた。

『ちょっとおじゃまします』、『あんしんして暮らせる10分間講座』

地域包括支援センターの社会福祉士を中心とした職員が、地域活動交流主催事業や地域で開催されているサロンにおじゃまし、10分間程度の時間を利用して、様々な制度や消費者被害、詐欺、空き巣、交通安全等、最新の情報を参加者に提供している。

参加者が自宅に帰ってからも、家族や知人にその情報を伝えていただくようお願いし、周知の範囲を広げるとともに、事業参加者が他者に伝えることで、得た知識がより記憶に残るよう工夫したものである。これは、地域の方の何気ない会話から、“利用できる制度を知らない”、“未だ絵に書いたような詐欺に合っている”、ということを目にしたことがきっかけで事業化したものである。地域やケアプラザで様々な講座や講演会が開催されているが、情報提供・注意喚起したい方と参加者は必ずしも一致していない。また、今は必要ない情報でも、耳にしておくことで将来役に立つこともある。より多くの地域住民に情報を伝えていく必要性を感じ事業化している。

『共催事業』

区社協、地区社協、区内ケアプラザ、保健活動推進員、金沢区食生活等改善推進員会、地域団体等と共催事業を開催し、協働での地域支援と各組織との関係を深めた。

『当事者との関わり』

障がい児を持つ母親の自主グループと子育て支援者の勉強会の自主グループの活動を後援し、ともに活動に加わることで、決して表には出ない・出せないようなインフォーマルな情報を得、ケアプラザ事業の中で反映させるよう努めた。

『福祉教育・職業体験の受け入れ』

学校等からの依頼を受け、趣旨に応じたプログラムを用意した。個別支援級の受け入れも行った。

『福祉保健計画』

地域活動交流事業や共催・協働事業、また、地域支援チームのメンバーとして、計画実現に向けての役割を果たした。

『中期4か年計画』

基本政策（4つの視点）のうち、『女性・子ども・若者・シニアの支援』、『市民の安心・充実』の項目の一翼を担った。

『自主グループ化』

“英語を楽しもう～2020年は東京オリンピック”が自主グループ化した。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

福祉保健活動団体が安定した活動を行えるような場の確保や調整を行うとともに、支援が必要な団体に対しては、支援を受けながら安心して活動できる場の提供を心掛けた。

『利用促進』

利用の少ない週末に一般向けの事業を開催し、新たな参加者を増やし、新たな活動による施設利用につながるよう努めた。また空き情報や利用方法などは、個人の状況に応じて個々に対応することに努め、さらに、こまめに声掛けを行うなど、利用団体の状況把握にも努めた。

『コーディネート』

福祉保健活動団体がケアプラザという場を利用して活動しているということの意味を捉え、積極的に団体との関係を深め、活動の支援を行うとともに、団体と地域資源（講師）等のコーディネートも行なった。

『安全』

安全面においては、貸館利用団体参加者全員を対象に、定期的に団体ごとに館内を歩き、災害時の避難経路について説明を行った。また、引き続き高齢者、幼児、障がい者が安心して館内を利用できるよう、靴を履き替えることなく館内に立ち入れる工夫や、館内の掲示物に画鋏を使用せずテープで対応する等の安全対策をとるとともに、障がい者や子どもの利用がある場合は、職員の誰もが来館者に配慮できるよう、毎朝の朝礼で来館予定者についての周知を行った。

『配慮』

希望の日時に貸館予約を取れなかった団体には、多施設の紹介や、ケアプラザ内のフリースペースを利用していただくようにした。

『物品管理』

机、椅子、調理器具等の物品管理については、写真や絵・図を掲示することで、スムーズな利用となり、次に使う団体への配慮につなげた。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

今年度は、在宅ボランティアとお花紙で作る花づくりボランティアを募り、新たなボランティア活動につなげることができた。年齢、体力、活動時間を問わずにできる活動であり、ボランティア初心者や高齢者には活動しやすいものである。また、自主事業化した障がい児者向け『かまりやボランティアポイント“ひこうき”』も、ボランティア活動としてシニアボランティア活動に引けを取らないものとなっている。また、エリア内にあるグループホームへのボランティアコーディネートも行った。

『在宅ボランティア』

デイサービスで使う手縫いの足拭きと、釜利谷保育園園児向け認知症サポーター養成講座でオレンジリングの代わりに配ったフェルト製の“ロバ隊長”作りをしていただいた。また、自主事業である“はりねずみのお針箱”参加者にも、この活動にボランティアとして協力をいただいた。“ロバ隊長作り”は、認知症理解と支援につなげることができた。

『お花作りボランティア』

今年度、貸館利用団体中心に声掛けを行った、“すみなすフェスタ”で使用するお花紙でのお花作りボランティア。年齢や体力に関係無くできるボランティア活動であり、ボランティア活動未経験者にはボランティア第一歩として活動しやすいものとなった。また、これがきっかけで会食ボランティアに繋がったケースもあった。

『かまりやボランティアポイント“ひこうき”』

障がい児者向けのポイントの付くボランティア活動。車椅子の清掃・消毒、地域の方が自由に使えるスペースの清掃等、一般ボランティアと変わらぬ活動内容になっている。

『地域へのコーディネート』

エリア内にあるグループホーム（認知症）へのボランティアコーディネートを行い、継

続的な活動につながった。

『子育て支援ボランティア』

乳幼児親子向けのボランティアも安定した活動を継続している。また、子育て中の母親のボランティアとしての活躍の場の提供も行った。

『多世代交流男性ボランティア』

退職後の高齢者の方々に”プラレール広場“において、子どもたちの遊び相手、プラレールの修理、乳児の子守を担っていただいている。

『シニアボランティアポイント』

高齢のボランティアの方には、楽しみながら、また、活動の場を広めるという意味で『シニアボランティアポイント』について案内をしている。

『貸館利用団体によるボランティア活動の推進』

定例の会食サロン開催時には、貸館利用団体にボランティアとして加わっていただくことで、新たな担い手としてつながるような方向付けを行うとともに、地域活動への啓発に努めた。

『その他』

すでに長期的に活動されているボランティアには、事業の協働主催者として対等に向き合い、意見を取り入れるなどして将来の地域づくりの担い手として発展できるよう図った。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

関係機関との会合や共催事業を通じて、相互での情報収集及び情報提供を行なうとともに、地域により近い福祉・保健の施設であるという特性を活かした情報収集を行い、必要な人に必要な情報がタイムリーに届くよう努めた。

具体的には、地域支えあい連絡会、釜利谷子育て連絡会、地区推進会議、コーディネーター連絡会等、更に多様な団体との共催事業（地区社協、民生委員・児童委員、保健活動推進員、食生活改善推進員、地域支援グループ等）を通じての情報収集および提供を行った。また、地域包括支援センター、生活支援コーディネーターとの共催事業を通じて、それぞれの視点で社会資源の把握を行うとともに、地域の現状把握にも努めた。

- ・児童デイサービスを訪問し、情報収集を行うとともに、児童デイサービスに提供できるケアプラザ事業や地域活動の情報提供を行った。
- ・金沢養護学校高等部の授業を見学させていただき、実際に見てきたものを情報として持つことができた。
- ・貸館利用団体『カモミール（障がい児を持つ親の会）』、『はぐくみかい（子育て支援者、心理カウンセラー）』に参加させていただき、情報の収集と提供に努めた。
- ・子ども支援を中心とした“ばるーんの会”（主任児童委員、区子ども家庭支援担当者、西金沢地域ケアプラザ）及び、子ども・障がい児支援を中心とした“釜利谷コミュニティーネットなないろの会（フレンドリースペース金沢、主任児童委員、障害児を持つ保護者の会代表、区子ども家庭支援担当者、西金沢地域ケアプラザ）の定期的な開催により、よりコアな情報収集と情報提供を行うことができた。
- ・地域支援者には、地域支えあい連絡会等を通じて、行政、区社協、ケアプラザからの福祉保健に関する情報提供をするとともに、区や区社協主催の職員向けの研修受講後、地域支援者向けに内容を再構成し開催するなどの情報提供も行った。また地域支援者の視点での情報収集ができた。
- ・福祉保健活動団体の活動（障がい児を持つ親の会、子育て支援者の勉強会）に参加し、当事者や専門家から生の声を聞き、情報収集・情報提供に努めた。
- ・地域住民に対しては、行政からの告示や、区社協、地区社協から得た内容をわかりやすく情報提供をするよう努めた。具体的には、地域包括支援センターとの共催による『あんしんして暮らすための10分間講座』、『ちょっとおじゃまします』を開催し、直接住民に語りかける形で情報提供する場を増やしている。また、広報紙『やまなみ』には地域包括支援センターからの情報提供に加え、“k a n a k e i（かなけい）”の欄を設け、金沢警察署からの注意喚起のお知らせを定期的に掲載している。
- ・広報紙・チラシの発行（年11回）・掲示、ケアプラザホームページ（毎月更新）や区の広報紙及び横浜市のイベント情報検索システム『横浜カレンダー』等を活用し、より多

くの方に情報が届くよう努めた。更に、事業開催時には参加者に合わせたチラシを置くとともに、個別に必要な情報を見極め情報提供するなどの対応にも努めた。

- ・横浜市が提供している人口統計等の資料を基に、地域に合わせて資料を独自に作成し、データから地域を読み取ることの周知を行った。
- ・地域情報、貸館登録団体等の活動を必要に応じて情報提供に加え、活動参加への橋渡しを行った。また、地域に近い福祉保健の施設という特性を生かし、福祉保健活動団体等との共催事業や地域住民との会話の場を多く持つことにより、よりタイムリーな生きた地域情報を得ることに努めた。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

月に1度の定例5職種会議を通して、生活支援体制整備事業の進捗報告を行い、必要に応じて連携の依頼を行うことが出来た。

「かまりやーの」の取組みを協議体とし、5職種連携で地域のニーズ把握に取り組むことが出来た。来年度は、把握したニーズから具体的な取組みを地域の住民と共に実現に向けて進めていきたい。

金沢区友愛活動の大会において、釜利谷地域ケアプラザの地域活動・交流コーディネーター、西金沢地域ケアプラザの地域活動・交流コーディネーター・生活支援コーディネーターで取組んだ「移動サロン 釜利谷おいでや よってらっしゃい」の発表の場を借りて、4コーディネーターによる取組みの発信をすることが出来た。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

地域のサロン等に足を運び、顔の見える関係づくりを行うとともに、サロンに参加する方から直接声を聞きとることが出来た。また、会のスタッフの方々からは、サロン等の課題を相談されるまでの関係づくりが出来た。サロン等のそれぞれの悩みの解決に向けて、「地域で活動されている団体の交流会（つながりの会）」を5職種連携で実施し、サロン・介護予防のグループ、生活支援グループで活発な意見交換をすることが出来た（2回実施）。今後も、それぞれが持つ強みや弱みを共有し、お互いの課題解決につなげたい。ネットワーク作りにおいては、「地域で活動されている団体の交流会（つながりの会）」の他に、担当エリア内でホームページを持つ自治会町内会の担当者が集まり、情報交換会を実施した。今後、インターネットによる情報提供が広がると予想される中、新しくホームページを開設する地域に対しての相談役となり、必要に応じて支援を行う。

自治会町内会の把握については、それぞれの地域で実施される行事等（餅つき、お祭り、バザー等）に可能な限り顔を出し、キーパーソンや会長等と会話をするよう心掛けた。

「釜利谷みんなの情報シート」29年度版は、主任ケアマネジャーと共に介護事業所等及び各民生員・児童委員に配布した。

(3) 連携・協議の場

連合町内会の会合において、「生活支援体制整備事業」の取組みのチラシを配布させていただき、その後各自治会町内会の役員会（5/13）で、「生活支援体制整備事業」の説明をする時間を作っていただき、周知に努めた。役員会で説明することにより、若い年齢層に周知できたのは、次世代につなげる意味で効果があった。また、役員会で配布した資料は各自治会のブロックごとで回覧されたので、より多くの住民に生活支援体制整備事業の取組みが目についたことになる。未だ説明を行っていない地区は、引き続き来年度に行きたい。

29年度に入り、新規で生活支援に関する取組みが2件、「こずみお助け隊」、「ホッと阿王ヶ台」、サロンが2件、「地域交流処 禅」、「宿仲良し会」立ち上がり、他にも「地域の方の集う場を作りたい」という地域の活動に関する相談が3件あった。取組みがスムーズに進むよう、情報提供や他の取組みの見学等のコーディネート、会議への参加など後方支援に努める。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

生活支援コーディネーター連絡会に出席し、金沢区内の各ケアプラザの取組みを把握する事や、福祉フォーラムの参加、全国生活支援コーディネーター研究協議会に参加することで、各地の生活支援体制整備事業の動きを把握することが出来た。今後は、これまで得た情報を参考に、釜利谷の地域課題解決に向けて取組んでいきたい。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

高齢者支援に関わる地域の多様な活動をまとめた「釜利谷みんなの情報シート」を、生活支援コーディネーター協力の下、新しい情報を収集・更新した。民生委員やケアマネジャーに配布を行う予定。

地域包括支援センターの理解が深まるよう、連合町内会役員会や民生委員・児童委員協議会で年1回説明を行い、地区推進連絡会では包括5職種で出席し、顔の見える関係づくりを行っている。サロン、講座、催し物等に出向き、民生委員や地域福祉従事者、地域住民と関わりを持つよう努めた。月に1回、居宅介護事業所へ訪問し、情報交換やネットワーク構築に努めている。エリア内の医療機関とは、「入院時・退院時情報シート」を活用して情報を共有し、ネットワークの構築に努めた。

② 実態把握

地域分析として、総合相談件数、介護保険申請数（予防を除く）を丁別に集計・データ化し、地域特性の把握を行い、部門間で共有し、次年度の事業計画に役立てている。各事業では必ずアンケートを取り、参加者が望んでいる講座の聞き取りを行い、それを部門間で共有し、次年度の講座テーマにつなげている。

地域のサロンや出張講座に出向いた際、地域住民や民生委員等の地域福祉従事者の方と話す機会を作り、高齢者の個別ニーズや地域のニーズ、インフォーマルサービス等、潜在的なニーズの発見と把握に努めた。

③ 総合相談支援

さまざまな相談を受けとめられるよう、フォーマル・インフォーマルサービスの最新の情報の把握を行い、幅広い情報を提供、ワンストップで必要なサービスにつなげるよう努めた。幅広い視野で一つのケースを検討・支援するために、地域包括支援センター内で定期的にケース会議を行っている。

総合相談では、地域のサロン・サークルの情報やケアプラザ、地域包括支援センターで行っている介護予防・認知症予防事業を積極的に提供し、その地域資源の提供にあたっては、民生委員や町内会役員と情報共有し、最新の情報を伝えられるよう努め、関係機関につなぐ役割も担った。

3職種が専門性を活かして対応できるように、定期的なケース会議のほかに随時情報共有を行い、現場調査や訪問の必要性について検討し、必要に応じて他部門や区・他機関と連携して対応した。今年度も民生委員、ケアマネジャー、施設職員からの相談が多くあり、同行訪問の機会があった。

介護サービスにつながらないが、継続的な関わりが必要な方に関しては、随時3職種で情報共有を行い、電話と訪問で確認、フォローしている。区から届く相談票は、介護保険申請後のフォローのため、数日後に電話で現況確認を行っている。

年々認知症に関する相談が増加しており、今年度から認知症の人と家族が共に安心して過ごせる居場所の支援や家族のつどいが必要と考え、「かまりやサロン」を10月から月1回のペースで開催している。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

・成年後見制度の活用・普及啓発について

成年後見制度の利用が必要な方に対して、積極的に説明を行い、親族申し立て前後の継続的なフォローに努めた。区長申し立てになりそうなケースについては、早い段階で区の担当ケアワーカーに情報提供し、つないでいる。第三者に後見人を依頼したケースについては、区、成年後見ネットワークの先生方と連携し、適切な後見人が選任できるよう紹介を行い、スムーズに申し立てが進められるよう、医療機関との情報共有・連携に努めた。また、後見人の選任後も、継続的に情報共有を行い、同行訪問やカンファレンスに出席、地域ケア会議を開催することで支援を継続している。

出張講座・フェスタ等で成年後見制度の説明とパンフレットの配布を行っている。普及啓発のための事業としては、コスモス成年後見サポートセンターとの協力で、7月に「個別相談会」を開催して相談の掘り起しを行い、9月にグループホーム職員向けに「成年後見制度の基礎知識」の講座を開催した。11月の「新任ケアマネジャー研修」では、他包括と共催で、権利擁護・成年後見制度の説明を新任ケアマネジャーに向けて行った。1月の「終活セミナー（2日目）～成年後見制度について～」では、司法書士会との協力で講座を開催した。

・消費者被害防止について

消費者被害の相談があった場合は、情報収集と必要に応じて訪問を実施し、実態確認と相談支援を行っている。昨年度に引き続き、釜利谷郵便局とは認知症や消費者被害に関する相談体制を整えている。今年度は、三菱東京UFJ銀行金沢文庫支店の従業員向けに出張講座を開催し、地域包括支援センターの案内や消費者被害・認知症に関する相談体制について連携を取りあった。

8月の「ほっとタイム」では、金沢警察署に依頼し講座を行い、地域活動交流と共催事業「くらしの教室」では、9月にパークタウン自治会で金沢消防署に依頼し講座を開催、坂本町内会で金沢警察署に依頼し講座を開催した。また、森の小道では包括職員によるミニ講座を開催した。

「あんしんして暮らすための10分間講座」として、月1～2回地域交流事業の参加者に消費者被害の情報発信をした。また、「ちょっとおじゃまします」では、1ヶ月に1回のペースで地域のサロンに出向き、10分講座で消費者被害の情報発信を行っている。

② 高齢者虐待への対応

高齢者虐待の早期発見や予防・防止のため、日頃から民生委員や地域福祉関係者、ケアマネジャーや病院等との関係機関と顔の見える関係づくりと相談しやすい体制を心掛けた。今年度の虐待事例では、区と情報共有し、随時支援方法について検討して進めてきた。世帯全体への支援も含めて生活困窮やフードバンクの窓口を紹介し、家族支援にも力を入れた。区、病院と同行訪問や市町村権限行使にあたっての協力を努めた。

虐待を一番身近に発見しやすいケアマネジャーを対象に、10月に「高齢者虐待～気づきの視点と気づいたあとの対応～」の研修を開催、弁護士に依頼し、高齢者虐待の基礎知識、早期発見、対応方法等の勉強会を行った。

高齢者虐待の正しい理解と孤立しない地域づくりを目指し、広報誌での呼びかけと横浜市のリーフレット配布を行った。高齢者虐待の通報についても、地域包括支援センターが相談窓口となっていることについて、出張講座や認知症サポーター養成講座等で呼びかけを行った。

介護者のつどいは、介護者のレスパイトケアや学びの場となるよう開催し、虐待防止の正しい理解に努めた。

③ 認知症

出張講座やフェスタ等の中で、認知症に関するパンフレットの配布やミニ講話を行い、認知症に対する正しい理解の周知に努めた。認知症に関する取組みは5職種で取組んだ。「認知症サポーター養成講座」は、今年度も高齢化率がエリアで最も高い高舟台町内会館で地域住民向けに1回開催、釜利谷地区保健活動推進委員向けに1回開催、釜利谷保育園の年長さん、先生向けに1回開催した。また、エリアの小学校4校・中学校2校に、独自で作成した「認知症サポーター養成講座を開催しませんか？」のチラシを配布し、副校長と話す機会を設けた。来年度も開催に向けて粘り強くアプローチしていく予定。

今年度初めて、包括エリア内の「釜利谷認知症キャラバン・メイト交流会」を開催し、情報交換や日頃の悩み、疑問等を話し合うことができた。

認知症の人と家族が共に安心して過ごせる居場所（認知症カフェ）や家族の交流場が必要と考え、「かまりやサロン」を10月から月1回のペースで開催している。

地域住民向けに「認知症」について予防中心の講演会を開催し（100名強の参加）、認知症についての普及啓発を行った。また、民生委員・児童委員の研修会の中で、認知症の早期発見や対応法の講座を行った。

地域の居宅介護支援事業所に、認知症初期支援チーム（オレンジチーム）の活動の周知、情報提供を行った。「認知症状の自覚があるが受診につながらない、継続的な治療ができていない」との訴えがある相談では、認知症初期支援チームにつなぎ、複数の専門職と連携して当事者と介護者自宅を訪問、アセスメントを行い、医療や支援につなぎ、ご家族の心理的サポートを行った。

（3）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

高舟台民生委員と年に1回情報交換会を行い、日頃の悩みや個別相談、情報共有が必要なケース等の話し合いの場を設けた。困難事例にはネットワークの構築を図り、情報を共有し、方向性を確認しながら支援を行った。高舟台グリーンピースの活動で、「施設見学」の要望があり、「特別養護老人ホーム」の見学調整と地域の情報共有を行った。

・サービス事業所・介護福祉施設との連携

エリア内にある地域密着型事業所の運営推進会議には、グループホーム3事業所、小規模多機能型居宅介護事業所1事業所へ、2か月に1回参加している。介護・医療連携推進会議は3か月に1回。半年に1回、6の地域密着型通所介護事業所の運営推進会議に出席し、認知症対応型通称介護4事業所、合計15事業所の会議に参加し地域関係者との連携構築に努めた。

インフォーマルサービス（介護・認知症予防活動等）や関係機関等の地域資源の情報収集・整理を行い、地域の多様な活動をまとめた「釜利谷みんなの情報シート」を生活支援コーディネーターと協力して作成し、年に1回新しい情報収集を行って更新し、配布した。

昨年度の包括レベル地域ケア会議「みまーも」からの今後の取組みとして、5職種で「これからも住み慣れた地域で安心して暮らしていく為に何が良かったか」、ケアマネジャー・介護サービス事業所・民生委員・ボランティア団体で「かまりやーの」をそれぞれ立ち上げ、テーマに添った話し合いの場を年2回設けた結果、平成30年4月1日からの「かまもりホルダー」開始につながり、ネットワークの構築と情報共有・必要な資源の検討を行った。

② 医療・介護の連携推進支援

・ネットワーク構築のための取組み

金沢区薬剤師会・金沢区在宅医療相談室・包括主任ケアマネジャー部会と「薬剤師と介護支援専門員との情報交換会」を開催し、薬剤師会とケアマネジャーとの相互理解を図り、今後の連携の為に情報交換を行った。

・医療との連携

退院後の在宅生活がスムーズに行えるように、各病院の医療連携室と随時相談を行い、家屋評価士の立ち会いの下、地域のインフォーマルサービス等の情報提供を行った。

エリア内の病院(医師・MSW)・開業医・西金沢地域ケアプラザ包括と「釜利谷地域連合会議」を開催し、「釜利谷地域連携シート」の進捗状況の確認と活用を広める事などについて検討をおこなった。今後は、「入院時・退院時・情報共有シート」を利用し、活用に向けての周知や意見交換等を行い、医療との連携づくりに努めた。

年に1回、金沢区内包括と病院の医療ソーシャルワーカーとの情報交換会を行っている。病院や薬局に出向き、地域包括支援センターの周知と顔の見える関係づくりを行なった。

医療・介護の連携・推進を図るため、医療相談室主催の事例検討会へ参加し、事例提出の支援を行った。

③ ケアマネジャー支援

毎月1回以上各事業所を訪問し、ケアマネジャーと顔のみえる相談しやすい関係づくりに努め、「入院時・退院時情報共有シート」や「連携ハンドブック」の情報提供を行った。ケアマネジャーからの多問題・支援困難ケースについての相談には、必要に応じて同行訪問や区と連携したカンファレンスを開催し、支援の方向性と目標設定を行い、課題解決の糸口を確認、ケースによっては個別地域ケア会議につなげた。サービス担当者会議には積極的に出席し、継続的な支援を心掛けた。

ケアマネジャースキルアップ研修では、「高齢者虐待防止研修」を開催し、研修を通してケアマネジャー同士の情報交換、ネットワークづくりを意識して行った。

南部ブロック5包括主催の「サロン南風」では、ケアマネジャーのニーズを把握し、7月に「介護保険自己負担助成・社会福祉利用者負担減免」、11月に「精神疾患を抱えて8050問題についての事例と対応」、「金沢区障害者後見の支援室帆海の事例・説明」などの研修を開催し「きずき」や「つなげる」情報や手段を学んだ。

包括主任ケアマネジャー部会として、「新任ケアマネ研修」を年3回に分けて行った。第2回目には「生活保護制度・生活困窮者支援制度」を学び、多くの情報提供が出来るよう制度の研修を行った。

居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーからなる「金沢区主任ケアマネネットワーク」で、意見交換会を1回・スーパーバイズの研修として事例検討会を1回開催した。金沢区包括支援センターと区の共済で、「介護予防ケアマネジメント」のICF(国際生活機能分類)に基づいた「自立」を意識した勉強会を開催した。

金沢区の主ケアマネ部会・金沢区南部5包括で、ケースの支援方法とケアマネジメントの本質を学ぶ事例検討会を行った。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

個別地域ケア会議を2回開催した。支援チーム以外の民生委員・地域のボランティア団体、他職種の方々が参加し、「地域包括ケアシステム」を中心に検討した。本人の思い、本人・家族の心構えを共有し、参加者の資質向上のほか、地域課題の把握や分析、対策等も検討できた。ケア会議終了後も、必要に応じてケース会議・カンファレンスの開催、ケアマネジャーのフォローを行い、継続的に関わっている。

個別ケア会議では「認知症」に関する課題が多かった。認知症の方を地域で支える地域づくり・資源開発などに向けて検討する「認知症予防、認知症の方が住みやすい街づくり」のテーマで、包括レベルの地域ケア会議を開催した。地域で安心して暮らしていために何があつたらいいかを考える「かまりやーの」の実施継続につなげていく。

(5) 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

要支援者、事業対象者に対しては、インフォーマルサービス等を含め、その人に合った効果的な支援計画を作成し、それ以上悪化させない現状維持や、状態の改善をめざすようなプランを作成した。

委託ケースについては、更新認定や新規認定時の担当者会議に出席し、ケアプランに地域支援事業についての情報提供を掲載できるようアドバイスした。各居宅の新任ケアマネジャーに対しては、個別に予防プラン作成等についてマニュアルを配布し指導した。民生委員、保健活動推進員、町内会役員等と連携し、介護予防の普及啓発を行った。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

地域の高齢者が、住み慣れた地域で継続して生活できるよう、本人ができる事は出来る限り行うことを基本に、主体的な活動と地域活動への参加意欲を高められるよう支援した。ロコモティブシンドローム予防、認知症予防として効果があると言われている「スクエアステップ講座」を9回コースで行い、自宅でも出来るストレッチを毎回取り入れ、継続して行えるよう支援した。「ほっとタイム」として音楽療法、体操、フットケア、転倒予防法、認知症予防を取り入れた講座を5回行った。「白山道さわやか元気づくりステーション」、「阿王ヶ台スマイル」、「こずみカフェ」を区役所とともに支援した。法人のイベント「すみなすフェスタ」では、ロコモチェックを行い、その後、希望者や高リスク者に対して個別相談を行った。「坂本町内会」、「赤井北部町内会」、「パークタウン自治会」、「宮ヶ谷町内会」でロコモ予防、口腔ケア、栄養等に関する各種講座を開催し、介護予防の普及啓発を行った。一般高齢者を対象とした「認知症予防講演会」を行い、今年度は、予防を中心に今からでも出来る事をテーマに医師よりお話しいただき、地域住民に予防に対する動機づけをすることが出来た。

出張講座参加者や個別相談で、必要な方に必要なプログラム（介護予防教室、ほっとタイム等）、元気づくりステーション、地域のサロン等や各種の教室、区役所での講演会や教室、ケアプラザの事業につなげた。つながらなかった方に対しては、定期的に訪問支援した。

その他

地域の小学校、保育園等との交流や中学校の職業体験の受け入れ、個別支援級の学生も積極的に受け入れ、地域ケアプラザならではの体験を提供した。各大学の看護学生の実習生も受け入れ、福祉や地域に関心を持ってもらった。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

日常的な維持管理は職員が行い、専門的な保守管理は専門業者に委託して、計画的、定期的に行った。

施設・設備の維持保全については、故障不具合の状況を区・建築局に報告、協議を重ね大規模修繕にならないよう修繕を実施した。

専門業者による建物設備管理、建物清掃、環境衛生管理を計画的に実施した。

イ 効率的な運営への取組について

法人で運営する地域ケアプラザと連携し、サービスの質の向上を図った。

職員一人一人がコストを意識し経費削減に努め、節電、節水等に職員全員で取組み、光熱費の削減につながった。区と協議を続けていたLED照明への交換工事（事務所、玄関ホール、地下駐車場等）は、承諾を受けて3月上旬に実施し、節電効果が表れている。ケアプラザ会議にて電気使用量の前年比較表を職員で確認し、意識を高めた。

複合施設の利点を活かし、事務の一括処理、印刷機、電話回線、厨房機材等を共同使用することで効率的な運営を行った。

ウ 苦情受付体制について

ご意見箱を設置し、施設内に案内を掲示している。地域の方、利用者、ご家族が気軽に要望や不満、意見を言いやすい環境づくりに取り組んだ。

運営法人の苦情解決に関する規則、実施要綱に則り、苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員を設置している。

苦情を受け付けた際は迅速に対応し、現場職員、苦情受付担当者、苦情解決責任者と一体となって誠実に対応し、今後の解決策、改善策を提示している。苦情の発生から解決までを記録に残し、職員全員が共有することで再発防止に努めた。

年1回、事業ごとに利用者アンケートを行い、意見や要望を伺った。内容について部門ごとの会議で検討し、より良い地域ケアプラザ運営となるよう活用した。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

ケアプラザ全職員対象に避難訓練を実施した。

連絡体制、役割分担、関係機関の一覧表を掲示し、迅速に行動できるようにしている。

災害・緊急時の職員の確保については、職員全員の参集最短時間を把握し、参集状況を事前に想定している。

土砂災害警戒区域に所在する施設のため、避難確保計画を策定し、利用者避難訓練を実施した。また、特別避難場所として速やかに開設できるよう、災害時備蓄品の整備管理を適切に行った。

不審者へは全職員で対応し、窓口では受付担当がチェックし、緊急時は警備会社へ通報する体制を整えた。夜間は機械警備とした。

貸館利用者には、定期的に避難経路説明を実施し、いざというときに備えていただいた。

オ 事故防止への取組について

AEDを館内に設置し、緊急時に対応した。地域の方にも周知した。

29年度は、転倒骨折事故発生後の対策変更に伴って事故防止マニュアルを更新し、職員に周知徹底した。

毎月の定例会議にてヒヤリハット事例を検討し、事故防止に努めた。定期的な会議だけではなく、日々の業務の中での職員一人ひとりの気づきも重要と考え、日常の業務の中で小さなこともヒヤリとしたことは見過ごさず報告し、ヒヤリハット報告の共有と職員のリスクマネジメントに対する意識を高めた。

施設内の設備について、危険な箇所、予測される危険箇所は、改修、修繕を実施して事故防止に努めた。また、職員全員で整理整頓に取り組んだ。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

法人の個人情報保護方針に基づき、マニュアル等で個人情報の取扱いについて注意事項を定め、職員全員で遵守した。

区からの個人情報保護に関する通知文や事故報告は必ず職員に配布、回覧し、周知した。使用の目的と範囲を明確にした上で、個人情報の持ち出しについては管理職の許可を得て行い、個人情報を含む書類等は、施錠できる棚等に保管している。また、パソコンはパスワードを設定し、29年度はセキュリティーワイヤーを購入して固定した。

年1回、個人情報漏えい防止チェックリストを全員に配布し、日頃の業務を振り返る機会とした。

個人情報保護統括責任者（事務局長）、個人情報保護責任者（所長）、個人情報管理者を置き、統括責任者の指示のもと、個人情報を適正に管理した。

日々の取扱いに関してマニュアルを作成し、確認表に必ず2名で確認押印し、誤送

付などの事故を防止した。訪問等で個人情報を持ち出す際は、ファイルに内容を記載し管理した。

キ 情報公開への取組について

事業報告、事業計画は、地域の皆様にも閲覧できるように窓口にファイルで設置しており、ホームページにも掲載している。

介護サービス情報公表制度に基づく「基本情報」、「調査情報」を公表している。28年からリニューアルしたホームページは毎月更新し、地域の皆さまへ最新の情報を積極的に公開した。

ケアプラザの広報誌「やまなみ」を3か月に1回、チラシを年7回発行し、町内会、郵便局、スーパー等に掲示、配布した。事業のお知らせだけでなく、近隣施設の案内も掲載した。施設入口にある道路脇の外看板でも案内した。

ク 人権啓発への取組について

全ての職員が人権問題を正しく理解し、自分の問題として捉えるよう、人権研修を年1回実施している。今年度は、「その人らしさを大切にしたいケアを目指して」をテーマに外部講師を招いて実施し、法人の全職員必須の研修として全員が参加できるよう、2日間にわたって開催した。研修後にはアンケートを実施し、職員がどのように人権を捉え業務に活かそうとしているかを確認し、研修内容の充実や研修効果を高めるよう努めた。

ケ 環境等への配慮及び取組について

横浜市ゴミゼロルート回収の参加施設として、ごみゼロ推進運動に取組み、再利用、分別管理の徹底を図った。

省エネルギー対策として、空調の温度設定、照明の間引きを引き続き徹底するとともに、1階の女子トイレにシャワーロボ（流水音、自動流水）を設置し、節水に取組んだ。

法人全体で電力使用量を毎月作成し、職員会議で確認することで、全員で節電に取組んだ。1日あたり8時間以上点灯する照明をLEDに交換したことで、電気使用量が節減できている。

プリンターのインクカートリッジは、インクカートリッジ里帰りプロジェクトに参加し、再資源化に協力している。

敷地内の植栽、草は定期的に業者に依頼し環境美化と景観形成に努めた。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- ・管理者 1名（常勤：地域包括支援センター看護師と兼務）
- ・看護師 1名（常勤）
- ・主任ケアマネジャー 1名（常勤）
- ・社会福祉士 2名（常勤）
- ・ケアマネジャー 2名（非常勤）

《目標に対する成果等》

高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるために、地域の高齢者の心身の健康維持、介護予防・保健・福祉・医療の向上、生活の安定のために必要な援助・支援を包括的に行った。

《実費負担》

- ご利用者様のご負担はありません。

《その他》

- ・委託ケースについては、担当者会議に出席し連携を図った。
- ・ご利用者様には、委託契約、担当者会議等で直接お会いし、担当ケアマネジャーに苦情等ある場合は直接、包括支援センターに連絡頂けるよう説明した。
- ・担当者不在でも緊急時スムーズに対応できるよう、包括職員間で定期的にカンファレンスを行い情報共有している。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
196	209	207	215	221	207
10月	11月	12月	1月	2月	3月
209	222	214	228	239	237

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

平成 29 年度は以下の体制で実施した。
常勤 4 名（うち 1 名は管理者兼務）

《目標にむけた取組み》

- ・ 住み慣れた地域でできる限り長くその人らしい生活ができるように、フォーマル・インフォーマルサービスを提案し支援した。
- ・ 自立に向けた明確な目標設定、達成度がわかりやすい個別性の高いプラン作成を行い、重度化の予防に努めた。
- ・ 情報共有や事例検討のために週一回以上会議や勉強会を行い、また多くの外部研修にも参加することで情報共有や知識を深めることができ、ケアマネジャーの資質向上に努めた。

《実費負担》

- 利用者様のご負担はありません。

《その他》

- ・ 特定事業所加算Ⅱ算定
- ・ 地域包括支援センターや区役所、病院等と連携・協働が特に必要な処遇困難な方や終末期の方などを積極的に担当し、円滑な在宅生活を支援した。
- ・ 週 1 回以上の会議や内部の研修、事例検討会などを随時行い、その中で新規ケースや困難ケースについての情報共有や支援の方向性を相談することで、事業所全体で利用者を把握し、片寄りのないサービスを提供することができた。
- ・ 担当ケアマネジャーが不在でも他のケアマネジャーが迅速に対応でき、利用者を不安にさせない、待たせないサービス提供ができた。
- ・ 専用の携帯電話を持つことで、24 時間相談できる体制を確保した。
- ・ 外部研修への積極的な参加により、医療や福祉、制度等に対する幅広い知識と多職種とのネットワークづくりを行い、ケアマネジャーの資質向上に努めた。
- ・ 金沢区のケアマネジャー連絡会の代表として活動することで、行政や金沢区内の医療・福祉との連携を図り、金沢区全体のケアマネジャーの活性化に努めた。

《利用者実績》

※要介護の人数（）内は予防件数

【単位：人】

4	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
107 (19)	104 (18)	103 (19)	105 (20)	102 (20)	106 (19)
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
109 (19)	110 (17)	110 (18)	114 (20)	110 (20)	114 (22)

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 1) 基本サービス
 - ①送迎サービス
 - ②健康状況の確認
 - ③介護サービス（排泄介助・食事介助等）
 - ④レクリエーション・体操
 - ⑤生活相談
 - ⑥介護相談又は介護方法の指導等
- 2) 加算サービス
 - ①入浴介助加算
 - ②個別機能訓練加算（Ⅱ）
 - ③サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ
 - ④介護職員処遇改善加算（Ⅰ）
- 3) その他（個別提供）
 - ①趣味活動・曜日ごとの教室やクラブ活動
 - 月曜日・・・書道教室、絵手紙教室、体操教室
 - 火曜日・・・手作りおやつサークル、麻雀サークル
 - 水曜日・・・カラオケサークル
 - 木曜日・・・絵手紙教室、折紙教室、珈琲サークル
 - 金曜日・・・体操教室、音楽教室
 - 土曜日・・・カラオケサークル
 - 日曜日・・・麻雀サークル
 - 毎日・・・館内散歩、囲碁、将棋、大正琴、ピアノ、塗絵、貼絵
クラフト制作 等
 - ②行事
 - 花見、運動会、敬老会、秋祭り、クリスマス会、利用者忘年会
 - ③イベント食
 - お楽しみランチ（2回/月）、流しそうめん、昼食バイキング、
ケーキバイキング、駅弁、母の日・父の日お祝い膳、お鍋、
握りずしパーティー、年越しそば 等

《実費負担》

- 1) 自己負担割合 1割の場合
 - (要介護1)・・・692円
 - (要介護2)・・・817円
 - (要介護3)・・・947円
 - (要介護4)・・・1,077円
 - (要介護5)・・・1,206円
- 2) 食費負担・・・700円
- 3) 加算
 - ①入浴介助加算・・・54円
 - ②個別機能訓練加算（Ⅱ）・・・60円
 - ③サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ・・・20円
 - ④介護職員処遇改善加算あり
 - ⑤送迎をしなかった場合（片道）・・・-50円
- 4) 自己負担割合 2割の場合
 - (要介護1)・・・1,383円
 - (要介護2)・・・1,634円
 - (要介護3)・・・1,893円
 - (要介護4)・・・2,153円

- (要介護5)・・・・・・・・・・2,412円
- 5) 食費負担・・・・・・・・・・700円
- 6) 加算
 - ①入浴介助加算・・・・・・・・・・108円
 - ②個別機能訓練加算(Ⅱ)・・・・・・・・120円
 - ③サービス提供体制強化加算(Ⅰ)イ・・・・・・・・39円
 - ④介護職員処遇改善加算あり
 - ⑤送迎をしなかった場合(片道)・・・・-101円
- 7) 介護用品使用時に実費
 - ①リハビリパンツ 1枚・・・・150円
 - ②紙オムツ 1枚・・・・200円
 - ③尿とりパット 1枚・・・・30円

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:20 ~ 16:30

《職員体制》

管理者	1人(常勤)
生活相談員	4人(常勤、介護職員兼務)
看護職員	6人(常勤1人、非常勤5人)
機能訓練指導員	6人(常勤1人、非常勤5人)
介護職員	21人(常勤4人、非常勤17人)
運転手	9人(非常勤)

《目標に対する成果等》

- 1) 安心・安全を第一に、サービスの向上に努めた。
 毎月のデイサービス職員会議にてヒヤリハットを全体職員に周知し、事故を未然に防ぎ、事故発生時は緊急会議を開催して対策を話し合い、マニュアルを変更した。外部の講師を招きリスクマネジメントの研修を開催した。(2回/年)
- 2) ご利用者様が『笑顔』になれるサービスを提供した。
 趣味活動のサークル活動などを固定の曜日に実施し、利用者が選択しやすいようにした。
 お楽しみランチやイベント食を月に2回以上実施し、季節を感じられる食事や郷土料理、お寿司、年越しそば等、満足いく食事を提供した。
- 3) 各担当ケアマネジャーや関係機関と連携を図り、利用者個々のケースに親身に対応した。担当ケアマネジャーへ、書面にて利用状況を報告した。
 その他、緊急性の高い案件はもちろん、変わった様子が見られる場合などは、直ちに関係機関に連絡した。

《その他》

- 1) 地域の施設、小学校や保育園とレクリエーションなどを通して交流した。
- 2) 施設的环境を活かし、山を見ながら屋上までの館内散歩を毎日実施した。また、裏山の竹を利用した流しそうめんや、ベランダのプランターでの園芸活動を行った。
- 3) 季節ごとの食事、「鍋パーティー」、「バイキング」、「寿司パーティー」、「懐石風料理」、「年越し蕎麦(蕎麦打ち体験)」など、様々なイベント食を提供した。
- 4) 季節ごとの行事(花見、運動会、敬老会、秋祭り、クリスマス会、忘年会)を実施した。
- 5) 毎月、入浴週間を設け、浴室の壁面を飾り、入浴をより楽しんでいただいた。
- 6) ご利用者のニーズに応え、各曜日にサークル活動・教室を実施した。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
741	793	736	784	757	695
10月	11月	12月	1月	2月	3月
697	658	641	582	627	667

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 1) 基本サービス
 - ①送迎サービス
 - ②健康状況の確認
 - ③介護サービス（排泄介助・食事介助等）
 - ④レクリエーション・体操
 - ⑤生活相談
 - ⑥介護相談又は介護方法の指導等
- 2) 加算サービス
 - ①運動器機能訓練向上加算
 - ②サービス提供体制強化加算（Ⅱ）
 - ③介護職員処遇改善加算（Ⅰ）
- 3) その他（個別提供）
 - ①趣味活動・曜日ごとの教室やクラブ活動
 - 月曜日・・・書道教室、絵手紙教室、体操教室
 - 火曜日・・・手作りおやつサークル、麻雀サークル
 - 水曜日・・・カラオケサークル
 - 木曜日・・・絵手紙教室、折紙教室、珈琲サークル
 - 金曜日・・・体操教室、音楽教室
 - 土曜日・・・カラオケサークル
 - 日曜日・・・麻雀サークル
 - 毎日・・・館内散歩、囲碁、将棋、大正琴、ピアノ、塗絵、貼絵クラフト制作 等
 - ②行事
 - 花見、運動会、敬老会、秋祭り、クリスマス会、忘年会
 - ③イベント食
 - お楽しみランチ（2回/月）、流しそうめん、昼食バイキング
 - ケーキバイキング、駅弁、母の日・父の日お祝い膳、お鍋、握りずしパーティー、年越しそば 等

《実費負担》

- 1) 自己負担割合 1割の場合
 - （要支援1）・・・1, 776円
 - （要支援2）・・・3, 621円
- 2) 食費負担・・・700円
- 3) 加算
 - ①サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ
 - （要支援1）・・・78円
 - （要支援2）・・・155円
 - ②運動器機能向上加算・・・242円
 - ③介護職員処遇改善加算あり
- 4) 自己負担割合 2割の場合
 - （要支援1）・・・3, 531円
 - （要支援2）・・・7, 241円
- 5) 食費負担・・・700円
- 6) 加算
 - ①サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ
 - （要支援1）・・・155円
 - （要支援2）・・・309円
 - ②運動器機能向上加算・・・242円

③介護職員処遇改善加算あり

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9 : 2 0 ~ 1 6 : 3 0

《職員体制》

管理者	1人（常勤）
生活相談員	4人（常勤、介護職員兼務）
看護職員	6人（常勤1人、非常勤5人）
機能訓練指導員	6人（常勤1人、非常勤5人）
介護職員	21人（常勤4人、非常勤17人）
運転手	9人（非常勤）

《目標に対する成果等》

- 1) 利用者の特性を踏まえ、自立した日常生活の維持・向上を目標としサービスを提供した。洗濯物たたみや茶碗洗い、テーブル拭き等を職員、ボランティアと共にを行い、自立した在宅生活を続けられるよう支援した。
- 2) 安心・安全を第一に、サービスの向上に努めた。
毎月のデイサービス職員会議にてヒヤリハットを全体職員に周知し、事故を未然に防いだ。事故発生時は緊急会議を開催して対策を話し合い、マニュアルを変更した。外部の講師を招きリスクマネジメントの研修を開催した。（2回/年）
- 3) ご利用者様が『笑顔』になれるサービスを提供した。
趣味活動のサークル活動などを固定の曜日に実施し、利用者が選択しやすいようにした。
お楽しみランチやイベント食を月に2回以上実施し、季節を感じられる食事や郷土料理、お寿司、年越しそば等、満足いく食事を提供した。
- 4) 関係機関と連絡、連携を密接に取り、質の高いサービスを提供した。
担当ケアマネジャーへ、書面にて利用状況を報告した。
その他、緊急性の高い案件はもちろん、変わった様子が見られた場合などは、直ちに関係機関に連絡した。

《その他》

- 1) 地域の施設、小学校や保育園とレクリエーションなどを通し交流した。
- 2) 施設の環境を活かし、山を見ながら屋上までの館内散歩を毎日実施した。また、裏山の竹を利用した流しそうめん、ベランダのプランターでの園芸活動を実施した。
- 3) 季節ごとの食事、「鍋パーティー」、「バイキング食」、「寿司パーティー」、「懐石風料理」、「年越し蕎麦（蕎麦打ち体験）」など様々なイベント食を提供した。
- 4) 季節ごとの行事（花見、運動会、敬老会、秋祭り、クリスマス会、忘年会）を実施した。
- 5) 毎月、入浴週間を設け、浴室を飾り、入浴をより楽しんでいただいた。
- 6) ご利用者のニーズに応え、各曜日にサークル活動・教室を実施した。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
17	16	17	17	16	18
10月	11月	12月	1月	2月	3月
19	20	20	19	22	21

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。(控除分を除いた提案額<人件費・事業費・事務費・管理費・消費税等・指定額の合計>)

※ 灰色セル部分は項目としてはありますが、基本的に記載しない部分です。

※ 黄色セルについては施設使用料を先引きしている第3期の指定管理期間施設のみ記載してください。

平成29年度 「釜利谷地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書（一般会計）

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,040,388	0	19,040,388	18,903,014	137,374	横浜市より（施設使用料相当額を除く）
利用料金収入	0		0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	0		0	732,794	△ 732,794	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	29,342	△ 29,342	
印刷代	0		0	29,342	△ 29,342	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他（施設使用料相当額）	△ 3,587,500		△ 3,587,500	△ 3,587,500	0	第3期の指定管理施設のみ
その他（法人負担分）	3,587,500	0	3,587,500	3,587,500	0	第3期の指定管理施設のみ
収入合計	19,040,388	0	19,040,388	19,665,150	△ 624,762	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,935,000	0	11,935,000	11,805,317	129,683	
本俸	7,700,000		7,700,000	7,799,970	△ 99,970	
社会保険料	1,050,000		1,050,000	1,025,896	24,104	
手当計	3,020,000		3,020,000	2,808,177	211,823	
健康診断費	10,000		10,000	16,632	△ 6,632	
勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000	6,000	0	ハマふれんど等
退職給付引当金繰入額	98,000		98,000	98,580	△ 580	
その他	51,000		51,000	50,062	938	
事務費	1,601,000	0	1,601,000	1,414,871	186,129	
旅費	6,000		6,000	5,020	980	
消耗品費	250,000		250,000	83,255	166,745	
会議賄い費	15,000		15,000	0	15,000	
印刷製本費	350,000		350,000	261,987	88,013	
通信費	250,000		250,000	221,515	28,485	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	0		0	313,854	△ 313,854	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	78,000		78,000	118,173	△ 40,173	
職員等研修費	5,000		5,000	0	5,000	
振込手数料	2,000		2,000	2,484	△ 484	
リース料	15,000		15,000	12,940	2,060	
手数料	35,000		35,000	31,018	3,982	
地域協力費	5,000		5,000	6,000	△ 1,000	
その他	590,000		590,000	358,625	231,375	
事業費	702,588	0	702,588	1,256,497	△ 553,909	
運営協議会経費	42,000		42,000	31,286	10,714	指定額
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	660,588		660,588	1,225,211	△ 564,623	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	3,847,000	0	3,847,000	5,180,843	△ 1,333,843	
建築物・建築設備点検	35,000		35,000	35,998	△ 998	指定額
光熱水費	2,610,000	0	2,610,000	3,689,981	2,610,000	
電気料金	660,000		660,000		660,000	
ガス料金	600,000		600,000		600,000	
水道料金	1,350,000		1,350,000		1,350,000	
清掃費	330,000		330,000	338,536	△ 8,536	
修繕費	210,000	0	210,000	400,626	△ 190,626	
機械警備費	45,000		45,000	44,350	650	
設備保全費	617,000	0	617,000	561,098	55,902	
空調衛生設備保守	200,000		200,000	198,115	1,885	
消防設備保守	65,000		65,000	64,961	39	
電気設備保守	50,000		50,000	49,118	882	
害虫駆除清掃保守	32,000		32,000	31,765	235	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	270,000		270,000	217,139	52,861	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	110,254	△ 110,254	
公租公課	954,800	0	954,800	944,425	10,375	
事業所税	0		0		0	
消費税	954,800		954,800	944,425	10,375	
印紙税	0		0		0	
その他（ ）	0		0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費	0		0		0	
支出合計	19,040,388	0	19,040,388	20,601,953	△ 1,561,565	
差引	0	0	0	△ 936,803	936,803	

平成29年度 「釜利谷地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書 (特別会計)

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料 (包括)	28,174,034		28,174,034	28,028,525	145,509	横浜市より
指定管理料 (介護予防)	150,000		150,000	150,000	0	横浜市より
指定管理料 (生活支援)	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入	0		0	0	0	介護保険収入等充当分
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	0		0	37,867	△ 37,867	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	15,000	△ 15,000	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他 (実習生受入謝金)	0		0	15,000	△ 15,000	
その他 ()	0		0	0	0	
収入合計	34,113,034	0	34,113,034	34,020,392	92,642	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	24,939,034	0	24,939,034	29,551,414	△ 4,612,380	
本俸	15,859,034		15,859,034	17,350,399	△ 1,491,365	
社会保険料	3,600,000		3,600,000	3,664,116	△ 64,116	
手当計	4,300,000		4,300,000	7,362,655	△ 3,062,655	
健康診断費	50,000		50,000	46,656	3,344	
勤労者福祉共済掛金	30,000		30,000	30,000	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	450,000		450,000	413,400	36,600	
その他	650,000		650,000	684,188	△ 34,188	
事務費	1,595,000	0	1,595,000	1,355,791	239,209	
旅費	30,000		30,000	33,683	△ 3,683	
消耗品費	300,000		300,000	55,069	244,931	
会議賄い費	10,000		10,000	9,936	64	
印刷製本費	250,000		250,000	288,036	△ 38,036	
通信費	200,000		200,000	155,060	44,940	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	0		0	12,000	△ 12,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	300,000		300,000	222,775	77,225	
職員等研修費	60,000		60,000	0	60,000	
振込手数料	10,000		10,000	10,714	△ 714	
リース料	5,000		5,000	616	4,384	
手数料	20,000		20,000	85,210	△ 65,210	
地域協力費	10,000		10,000	62,600	△ 52,600	
その他	400,000		400,000	420,092	△ 20,092	
事業費	6,569,000	0	6,569,000	946,703	5,622,297	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	指定額
介護予防事業	150,000		150,000	162,019	△ 12,019	
生活支援体制整備事業費	5,789,000		5,789,000	167,564	5,621,436	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	0		0	113,120	△ 113,120	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	1,010,000	0	1,010,000	1,377,169	613,712	
建築物・建築設備点検	10,000		10,000	9,569	431	指定額
光熱水費	660,000	0	660,000	980,881	660,000	
電気料金	150,000		150,000		150,000	
ガス料金	130,000		130,000		130,000	
水道料金	380,000		380,000		380,000	
清掃費	100,000		100,000	89,986	10,014	
修繕費	50,000		50,000	106,491	△ 56,491	
機械警備費	20,000		20,000	11,789	8,211	
設備保全費	170,000	0	170,000	149,147	20,853	
空調衛生設備保守	60,000		60,000	52,661	7,339	
消防設備保守	20,000		20,000	17,268	2,732	
電気設備保守	20,000		20,000	13,056	6,944	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	8,443	1,557	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	60,000		60,000	57,719	2,281	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	29,306	△ 29,306	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他 ()	0		0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費	0		0		0	
支出合計	34,113,034	0	34,113,034	33,231,077	1,862,838	
差引	0	0	0	789,315	△ 1,770,196	

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 釜利谷地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位: 千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・第1号通所介護
収入	介護保険収入	9237	23279	87576	7261
	その他	3636	881	2368	0
	介護予防ケアマネジメント費	3621			
	横浜市住所地特例	15			
	事業・負担金収入				
	認定調査料		617		
	修繕追加契約額			1421	
	助成金			155	
	その他		264	792	
	収入合計(A)		12873	24160	89944
支出	人件費	2535	21117	70020	
	事務費	769	982	10656	
	事業費	42	9	8689	
	管理費			6651	
	その他	8640	31	5401	0
	利用者負担軽減額				
	消費税		31	108	
	介護予防プラン委託料	6640			
	指定管理事業費			3588	
	固定資産支出			1705	
サービス区分繰入支出	2000				
その他					
支出合計(B)		11986	22139	101417	0
収支 (A) - (B)		887	2021	-11473	7261

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

平成29年度 自主事業収支報告書

横浜市釜利谷地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
スクエアステップ講座	事業者	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	87名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
かまりやボランティア ポイント「ひこうき」	障害者	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	2名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
ヨガ教室	地域	¥80,185	地活	¥2,385	¥77,800	¥0	¥80,185	¥0	¥0
	199名		包括	¥0					
	400円		生活	¥0					
ActiveEnglish～から だで英語～	障がい児者と家族	¥22,272	地活	¥16,322	¥5,950	¥0	¥22,272	¥0	¥0
	29名		包括	¥0					
	350円		生活	¥0					
月曜日には体操を	中高年	¥60,000	地活	¥10,500	¥49,500	¥0	¥60,000	¥0	¥0
	165名		包括	¥0					
	300円		生活	¥0					
放課後活動「かまりや クラブ」	学齢障がい児	¥15,946	地活	¥9,346	¥6,600	¥0	¥0	¥0	¥15,946
	76名		包括	¥0					
	200円		生活	¥0					
移動サロン 釜利谷お いで家”よってらっ しゃい”	高齢者	¥1,312	地活	¥556	¥200	¥0	¥0	¥1,312	¥0
	50名		包括	¥0					
	100円		生活	¥556					
ゴスペル教室	地域	¥261,719	地活	¥41,619	¥220,100	¥0	¥261,719	¥0	¥0
	244名		包括	¥0					
	1000円（障がい児者150円）		生活	¥0					
釜利谷親子ほっとサロ ン	未就園児親子	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	426名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
車椅子の貸し出し	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	47名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
英語を楽しもう！～ 2020年は東京オリン ピック～	地域	¥129,934	地活	¥2,734	¥127,200	¥0	¥116,934	¥13,000	¥0
	170名		包括	¥0					
	700円（ビクター800円）		生活	¥0					
もんきっきクラブ全5 回	2～3歳児親子	¥71,822	地活	¥32,222	¥39,600	¥0	¥66,822	¥0	¥5,000
	218名		包括	¥0					
	1600円		生活	¥0					
ブラレール広場	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	139名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
一緒に歌を歌いましょ う	地域	¥77,950	地活	¥32,750	¥45,200	¥0	¥77,950	¥0	¥0
	113名		包括	¥0					
	400円		生活	¥0					
横浜市大ボランティア 講座	大学生	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	45名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
きぐちゃんの からだ 遊び・こころ遊び「表 わら帽子クラブ」	1～4歳児親子	¥67,360	地活	¥45,360	¥22,000	¥0	¥66,820	¥540	¥0
	118名		包括	¥0					
	400円		生活	¥0					

平成29年度 自主事業収支報告書

フェスタボラ&貸館交流会	貸館利用者		地活	¥0					
	16名	¥0	包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	
	0円		生活	¥0					
はぐくみ会	子育て支援者		地活	¥0					
	39名	¥0	包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	
	0円		生活	¥0					
カモミール	障がい児を持つ親		地活	¥0					
	114名	¥0	包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	
	0円		生活	¥0					
ママと赤ちゃんのたいそう&ストレッチ全5回	0歳児親子		地活	¥47,622					
	108名	¥66,822	包括	¥0	¥19,200	¥0	¥66,822	¥0	
	1600円		生活	¥0					
親子3B体操教室	2~4歳児親子		地活	¥45,738					
	81名	¥60,138	包括	¥0	¥14,400	¥0	¥60,138	¥0	
	400円		生活	¥0					
はりねずみのお針箱	中高年		地活	¥6,177					
	78名	¥12,354	包括	¥6,177	¥0	¥0	¥0	¥12,354	
	0円		生活	¥0					
すみなすフェスタ	地域		地活	¥0					
	800名	¥0	包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	
	0円		生活	¥0					
地域支えあい連絡会	地域支援者等		地活	¥23,571					
	93名	¥23,571	包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥23,571	
	0円		生活	¥0					
おはなし会	未就園児親子		地活	¥15,588					
	64名	¥15,588	包括	¥0	¥0	¥0	¥15,588	¥0	
	0円		生活	¥0					
びよんたクラブ	1~6歳児親子		地活	¥19,828					
	62名	¥28,228	包括	¥0	¥8,400	¥0	¥26,728	¥0	
	300円		生活	¥0				¥1,500	
地域でできること・私たちにできること 情報交換会編~お茶の時間ないろ~	地域		地活	¥0					
	41名	¥0	包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	
	0円		生活	¥0					
やまゆり	地域		地活	¥0					
	55名	¥0	包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	
	0円		生活	¥0					
地域交流処” 禅”	地域		地活	¥0					
	43名	¥0	包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	
	0円		生活	¥0					
ホッと阿王ヶ台	阿王ヶ台自治会		地活	¥0					
	6名	¥0	包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	
	0円		生活	¥0					
地域で活動されているグループの交流会	地域		地活	¥0					
	52名	¥0	包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	
	0円		生活	¥0					
ちょっとおじゃまします	地域		地活	¥0					
	401名	¥0	包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	
	0円		生活	¥0					
あんしんして暮らすための10分間講座	地域		地活	¥0					
	187名	¥0	包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	
	0円		生活	¥0					
パーキンソン病交流会「やまゆり会」	当事者と家族		地活	¥0					
	19名	¥5,690	包括	¥5,690	¥0	¥0	¥0	¥5,690	
	0円		生活	¥0					

平成29年度 自主事業収支報告書

ほっとタイム	高齢者	¥3,000	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥3,000
	66名		包括	¥3,000					
	0円		生活	¥0					
介護者のつどい	介護者	¥13,025	地活	¥0	¥0	¥0	¥3,000	¥9,779	¥0
	91名		包括	¥13,025					
	0円		生活	¥0					
釜利谷地域ケアプラザ 認知症 キャラバン・ メイト交流会	キャラバンメイト	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	7名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
かのかん保育園との交流	保育園児	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	205名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
三菱東京UFJ銀行出張講座	三菱UFJ銀行職員	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	18名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
成年後見制度の基礎知識	グループホーム職員	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	18名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
くらしの教室	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	70名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
高舟台自治会認知症サ ポーター養成講座	高舟台自治会	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	23名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
釜利谷地区保健活動推 進委員会向け認知症サ ポーター養成講座	保健活動推進員	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	29名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
行政書士による個別相 談会	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	0人		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
きぐちゃんのしあわせ のおすそわけ～子育て の不安から期待へ～	乳幼児を持つ親	¥13,364	地活	¥11,764	¥1,600	¥0	¥13,364	¥0	¥0
	17名		包括	¥0					
	200円		生活	¥0					
1歳児向け親子たいそ う遊び全4回	1歳児親子	¥53,458	地活	¥40,658	¥12,800	¥0	¥53,458	¥0	¥0
	82名		包括	¥0					
	1300円		生活	¥0					
釜利谷南小学校3年生 まちたんけん	小学生	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	46名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
サマーフレンド(9館合 同)	障がい児	¥4,598	地活	¥2,822	¥1,776	¥0	¥672	¥2,730	¥1,196
	37名		包括	¥0					
	1000円		生活	¥0					
ラジオ体操講習会	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	62名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
サマーフレンド(釜利 谷地域ケアプラザ)	障がい児	¥16,920	地活	¥10,920	¥6,000	¥0	¥7,795	¥9,125	¥0
	17名		包括	¥0					
	1000円		生活	¥0					
医療講演会放っておく と怖い高血圧	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	11名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
かまりや英語クラブ	障がい児者と家族	¥34,604	地活	¥25,504	¥9,100	¥0	¥33,408	¥1,196	¥0
	50名		包括	¥0					
	350円		生活	¥0					

平成29年度 自主事業収支報告書

医療講演会白内障手術の話	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	16名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
ピラティス教室	地域	¥97,848	地活	¥44,448	¥53,400	¥0	¥71,272	¥0	¥26,576
	89名		包括	¥0					
	600円		生活	¥0					
3食しっかり食べましょう	未就学児と保護者	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	41名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
怒鳴らない子育て講演会	就学前の子を持つ親	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	27名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
親子de体操講習会	1歳児と保護者	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	34名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
ウォーキング講習会	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	49名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
手話ダンスとミニコンサートを楽しむ会	高齢者	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	61名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
かまりや一の	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	62名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
終活セミナー全3回	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	27名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
釜利谷保育園認知症サポーター養成講座	年長児と保育士	¥1,676	地活	¥558	¥0	¥0	¥0	¥1,676	¥0
	24名		包括	¥559					
	0円		生活	¥559					
かまりやサロン	地域	¥972	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥972	¥0
	42名		包括	¥972					
	0円		生活	¥0					
ケアマネスキルアップ研修	ケアマネージャー	¥16,705	地活	¥0	¥0	¥0	¥16,705	¥0	¥0
	21名		包括	¥16,705					
	0円		生活	¥0					
森の小道やまなみ	地域	¥46,475	地活	¥3,425	¥36,200	¥0	¥5,184	¥41,291	¥0
	160名		包括	¥3,425					
	300円(食事)50円(コーヒー)100円(ティー&クッキー)		生活	¥3,425					
簡単ストレッチ講座	高齢者	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	66名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
親子音楽会	未就園児親子	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	27名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
地域でできること～私たちにできること～大切な心と体を守り良好な人間関係を気づくための性教育・安全教育～	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	27名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
横浜子育てサポートシステム入会説明会	養育者等	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	9名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
医療講演会～心臓病の方も自宅でできる運動療法～	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	16名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
よこはまシニアボランティア登録研修会	阿王ヶ台町内会	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	8名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					

平成29年度 自主事業収支報告書

認知症サポーター養成講座 関東学院大学	大学生	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	169名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
認知症サポーター養成講座 赤井北部町内会	赤井町内会	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	23名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
認知症サポーター養成講座 阿王ヶ台自治会	阿王ヶ台自治会	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	43名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
出張講座 赤井北部	赤井北部町内会	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	22名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
職業体験 富岡中学校	中学生	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	5名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
福祉体験 並木中学校	中学生	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	3名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
地域実習 横浜市大看護科	大学生	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	3名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
認知症講演会	地域	¥50,000	地活	¥0	¥0	¥0	¥50,000	¥0	¥0
	91名		包括	¥50,000					
	0円		生活	¥0					
介護予防ウォーキング 教室	地域支援者	¥1,500	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥1,500
	11名		包括	¥1,500					
	0円		生活	¥0					
			地活						
			包括						
			生活						

平成29年度 自主事業報告書

横浜市釜利谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
スクエアステップ講座	地域内外の高齢者を対象とし、認知症予防、ロコモ予防を目的に気軽に交流できる場を提供し、介護予防の普及啓発をおこなう。 ・スクエアステップ講座	年間・年5回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
かまりやボランティアポイント「ひこうき」	ボランティア活動を通して身近な社会のしくみの体験とライフスキル支援を目的とする。 ・車椅子清掃 ・館内清掃	通年・年2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ヨガ教室	英語圏の外国人講師を招き事業を展開することで、日本語を母国語としない外国人への居場所と国際交流の場を提供するとともに、健康づくりにも役立てていただく。また今後、外国人の方にも地域資源として活動していただくきっかけとなる場ともする。またボランティア育成の場ともする。 ・ヨガ教室	前期・年9回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ActiveEnglish～からだで英語～	障がい児者とその家族向けに外国人講師を招いて、ゲーム感覚での英会話と外国の文化を楽しんでいただくことで、興味の幅を広げるとともに日本の社会とは違った雰囲気でのコミュニケーションを体験していただく。また、外国人の活躍の場とともに、別事業「英語を楽しもう」からのボランティア育成の場ともする。 ・英会話 ・外国文化の体験	前期・年4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
月曜日には体操を	日頃の生活の中でも続けられる動きを中心に指導いただき、介護予防、身体機能維持、腰痛・膝痛予防に役立てていただくとともに、参加者同士の交流、職員に気軽に相談ができる環境や情報収集の場の提供を行う。 ・体操教室	毎月・年12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
放課後活動「かまりやクラブ」	小・中学校の個別支援学級と養護学校高等部に通う児童を対象に、ボランティア活動と子ども同士の交流、多世代のボランティアとの交流の場を提供することで、社会に出る準備の場とする。また、障がい児向けボランティア育成の場ともする。 ・障がい児のボランティア活動 ・フリースペース	毎月・年11回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
移動サロン 釜利谷おいで家“よってらっしゃい”	西金沢地域ケアプラザと釜利谷地域ケアプラザの4コーディネーター（生活支援・地域活動交流）で、一人でも気軽に立ち寄れる移動式のサロンを開催することで、地域と関わりを持っていない方、新たな出会いを求めている方の居場所を提供するとともに、地域の紹介やケアプラザ事業の紹介をすることで、活動範囲を広げるきっかけとした。 ・おしゃべりサロン	前期・年3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ゴスペル教室	声を出すことによる心身の健康づくりと、障がい者・健常者・あらゆる世代の方がゴスペルを通してひとつになる場とする。また英語の歌詞により異言語による脳の活性化にも役立てる。また、ボランティア育成の場ともしている。 ・ゴスペル ・ストレッチ体操	毎月・年12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
釜利谷親子ほっとサロン	同世代の子を持つ親同士の交流の場と、関係機関が協働しサロンを開催することで広い視野での情報提供と相談の場の提供を行う。また地域のニーズを拾う場ともする。 ・親子サロン ・ミニイベント	毎月・年11回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
車椅子の貸し出し	介護支援を目的とする。 ・車椅子の貸し出し（2週間以内）	随時・年47回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
英語を楽しもう！～2020年は東京オリンピック～	2020年の東京オリンピックを目指して外国人支援を目指すとともに、利用の少ない夜間の時間で開催することでの場所の有効活用と、社会人の参加を狙うことで、ケアプラザを知っていただくとともに将来の地域の担い手としての育成にもつなげたい。 ・英会話 ・外国文化の体験	前期・年15回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
もんきつきクラブ全5回	“赤ちゃん”の時期が終わり個人差が出てくる時期に、成長の違いを感じながらも自分のペースを守りながらの参加、他者の影響を受ける参加と個々に合わせた参加の場とし、次の段階へ繋げる場ともしたい。また、乳幼児を持つ母親の社会資源としての活躍の場としても機能させる。 ・親子たいそう ・リトミック ・母親向け体操 ・読み聞かせ	春期、秋期・年218人

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
プラレール広場	<p>集団で協力しながらひとつのものを作る喜びを知っていただくとともに、保護者同士および多世代交流の場ともしている。男性ボランティアの活動の場ともしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラレール遊び 	隔月・年5回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
一緒に歌を歌いましょう	<p>歌を歌うことを通しての健康維持と、参加者同士の交流、職員に気軽に相談できる環境や情報収集の場の提供を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・童謡・唱歌・流行歌を中心とした歌の教室。 ・ストレッチ 	毎月・年10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
横浜市大ボランティア講座	<p>大学に広くボランティア活動の啓発を行い、ボランティア活動を行うきっかけをつくり、ボランティア活動者の養成・獲得を目指すとともに、社会教育の一環ともしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動についての講義 ・活動者の話 ・活動先の紹介 ・体験実習 ・報告会（振り返り） 	春期・年3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
きぐちゃんのからだ遊び・こころ遊び「麦わら帽子クラブ」	<p>子どもの自主性、自発性を尊重し、子ども自身が動くことを学び、動きを通して、からだ・あたま・こころの調和のとれた発達を援助する。障がい児は優先的に受け入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ムーブメント ・絵本のよみ遊び 	毎月・年10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
フェスタボラ&貸館交流会	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアへの意識付けと貸館利用団体同士の情報交換 ・ボランティア活動 ・貸館利用団体同士の情報交換 ・貸館利用について 	5月・2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
はぐくみ会	<p>子育て支援者・相談者同士の事例検討や、講師を招き勉強会を開き地域住民からのさまざまな相談に対応できるようにするとともに、ここで得た情報や知識をそれぞれが関わる親子の支援にもつなげていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てについての勉強会 	毎月・年8回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
カモミール	釜利谷エリアを中心とした障がい児を持つ保護者の支援を目的とする。 ・障がいのある子を持つ母親の情報交換等	毎月・年11回阿

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ママと赤ちゃんのたいそう&ストレッチ 全5回	乳児を持つ母親の健康づくりと”楽しむ子育て”を知っていただく場とし、心身のリラックスとともに閉じこもりがちなこの時期を同じ乳児を持つ親同士が交流することで、悩みや楽しみを共有する場とする。また、子育て支援ボランティアの活躍・育成の場とする。 ・母親向け体操 ・親子のふれあい遊び ・親子でのリラクゼーション	春期、秋期・年10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子3B体操教室	2～3歳児親子を対象に健康づくりの場を提供するとともに、あいさつや順番といったことも意識して教室に取り入れ、社会に出る第一歩としての機能も持たせる。 ・親子体操(3B体操) ・母親向け体操	毎月・年9回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
はりねずみのお針箱	中高年の方同士の交流や地域資源の発掘をする場として機能させるとともに、将来的にはミニデイ的な機能を持たせた場ともしたい。またスープを提供することで、孤食がちな日常から皆で食事をする楽しさも味わっていただく。 ・手芸サロン ・おしゃべり会 ・ミニ会食 ・相談援助	隔月・年6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
すみなすフェスタ	地域に向けての施設の周知と、地域と施設の交流や地域の活動の場の提供を行う。 ・フェスタ ・体力・健康測定 等	6月・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域支えあい連絡会	日常生活圏において「誰もが地域で安心した生活を送る」ために、地域の困りごと、援助してもらいたいことを地域の中で拾い上げ、地域の中でささえていくことを目的とする。日常生活圏において「誰もが地域で安心した生活を送る」ために、地域の困りごと、援助してもらいたいことを地域の中で拾い上げ、地域の中でささえていくことを目的とする。また、地域支援者同士の情報交換の場としても機能させている。	四半期・年4回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おはなし会	子どもたちが発達していく過程で心の豊かさを育むとともに、家庭内においてのよみ聞かせや遊び等の参考にさせていただきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせ ・わらべ唄 ・パネルシアター ・手遊び 	四半期・年4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
びよんたクラブ	1歳から6歳までの、子どもとしては幅広い年齢層対象での親子体操を開催することで、子ども間での異世代交流の場を提供するとともに、保護者間での先輩ママとの交流を通じて悩みや楽しさを共有できる場とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・親子ふれあい体操 ・母親向け体操 ・絵本の読みきかせ 	四半期・年4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域でできること・私たちにできること 情報交換会編～お茶の間ないろ～	地域の方を対象に”自分にできること”を中心に話し合いを行い、”地域の助け合い”につなげていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・助け合いについての情報交換 	四半期・年3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
やまゆり	主に釜利谷小学校周辺に住む独居の高齢者を対象としたお茶飲み会。外出の機会としていただき、高齢者の生活で役立つ情報をお伝えする。 <ul style="list-style-type: none"> ・サロン（交流・情報提供の場） 	春期・年4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域交流処“禅”	主に坂本町内会の高齢者を対象とし、民生委員が日頃担当地域で関わる人の中で、外出の機会が無い方を対象とした方を声掛けお茶飲み会を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・サロン（見守り等） 	春期・年6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ホッと阿王ヶ台	阿王ヶ台自治会の子どもから高齢者までを対象とした地域の助け合いの取り組み。 <ul style="list-style-type: none"> ・助けあい活動 	春期・年1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域で活動されているグループの交流会	釜利谷の担当地域で活動されているボランティアグループの情報交換を主な目的とした交流会の開催。 ・地域で活動されているグループ同士の情報交換や交流の場	半期・年2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ちょっとおじゃまします	地域包括支援センターと地域活動交流の職員が町内会のサロン等に気軽に立ち寄り、5分間程度地域住民目線で、消費者被害や空き巣、交通安全の情報提供や消費者被害、詐欺、空き巣、交通事故等に遭わないための話しや交流を図ってくる。 ・給付金詐欺、架空請求、オレオレ詐欺等 高舟台：グリーンピース・ふくしの会、阿王ヶ台：ふれあい広場、坂本：やまゆり、小泉：こずみカフェ、坂本：やまゆり・禅、保健活動推進員：ラジオ体操講座、宿：宿仲会、パークタウン：ふれあいの会	不定期・17回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あんしんして暮らすための10分間講座	地域活動交流が主催する教室等に、不定期に包括の職員が教室開始10分の間に、消費者被害や空き巣、交通安全等の情報提供を行うなどし、暮らしの安全に役立てていただく。 ・消費者被害、詐欺、空き巣、交通事故等に合わないための注意喚起。	通年・14回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
パーキンソン病交流会 「やまゆり会」	情報交換や交流を通して疾病への知識を深めるとともに、当事者や家族が地域で支え合う場とする。 ・ミニ講座「簡単クッキング」 ・参加者同士の交流会 ・情報交換（フリートーク） ・パーキンソン病におけるリハビリ、家でできる運動について	半期・2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ほっとタイム	気軽に楽しく参加できる交流の場。体操・認知症予防ゲーム・音楽、口腔ケア、終活など月によってさまざまなレクリエーション、会食などの活動を通して楽しく過ごす場。住民が交流を深めることで地域の中で顔見知りの関係ができ、孤立を防止し生きがいづくりや社会参加、介護予防を目的とする。 ・スリーA ・昼食会 ・ミニコンサート ・#7119勉強会（金沢警察署）・脳トレゲーム ・オレオレ詐欺について ・終活 ・フットケア講座 ・お茶会	隔月・6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい	介護者同士が日頃の介護を通しての介護者の思いの共有や情報交換を行う場の共有とともに、ケアプラザから介護者に対して必要な情報や支援を提供できる場とする。 ・宅配弁当を学ぼう ・ふるしきラッピング ・施設見学会（老健ふるさと） ・インフルエンザにかからないための講座 ・自宅でできるリハビリ ・中国茶を学ぼう ・おしゃべりの会	各月・7回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
釜利谷地域ケアプラザ認知症キャラバン・メイト交流会	釜利谷地域エリア内のキャラバン・メイト同士の交流会。困りごとや不安など話して、よりよい活動に繋がられるようにする。 ・キャラバン・メイト有資格の交流会。	春期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
かのん保育園との交流	異世代交流と福祉教育を目的とする。 ・園児とデイサービス利用者との交流 ・園児による手作りカレンダーの受け取り	毎月・10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
三菱東京UFJ銀行出張講座	銀行職員を対象に、銀行窓口での認知症の方への対応や、消費者被害の疑いがある方への被害の未然防止について学んでいただく。 銀行職員向けに地域包括支援センターの説明と、認知症の疑いや消費者被害の疑いがある方への対応についての情報交換。	夏期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
成年後見制度の基礎知識	グループホーム利用者の高齢化や家族問題の複雑化に伴い、グループホーム職員向けに成年後見制度の講座を行うことで、利用者の必要性の気づきの視点を学んでもらう。 ・成年後見制度の講座	夏期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
くらしの教室	くらしに役立つ情報を発信する。振り込め詐欺、空き巣、悪質商法の手口と対策等を発信することで、被害を未然に防ぎ、ケアプラザが身近な相談窓口であることを広めたい。 坂本町内会：金沢警察署職員による「最近の消費者被害、金沢区の現状について」の講座 パークタウンふれあいの会：金沢消防署職員による「急な病気やケガで迷ったら～#7119・救急受診ガイド～」講座	夏期・2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高舟台自治会認知症サポーター養成講座	高舟台自治会住民を対象に、認知症について正しく理解し、認知症の人と家族を温かく見守り、支援する応援者を養成する。 ・認知症サポーター養成講座	夏期・1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
釜利谷地区保健活動推進員向け認知症サポーター養成講座	保健活動推進員を対象に、認知症について正しく理解し、認知症の人と家族を温かく見守り、支援する応援者を養成し、地域の活動に活かしていただく。 ・認知症サポーター養成講座	夏期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
行政書士による個別相談会	成年後見制度の普及啓発、遺言等の相談の場とする。 ・成年後見制度や遺言等の相談	夏期1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
きぐちゃんのしあわせのおすそわけ～子育ての不安から期待へ～	子育て中の母親を中心に、子育ての悩みや不安を皆で共有し話し合うことで、不安から期待に変えていく。 ・親子ふれあい遊び ・”こどもの育ち” についての話し合い	夏期～秋期・2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
1歳児向け親子たいそう遊び 全4回	”赤ちゃん”の時期が終わり、発育・発達の個人差が出てくる時期に、同年齢の中で比較することなくわが子の成長を見守れる場とする。 ・母親向け健康体操 ・親子ふれあい体操	半期・8回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
釜利谷南小学校3年生まちたんけん	社会科の授業として、ケアプラザの機能や施設について学ぶ。 ・ケアプラザの機能についての学習 ・デイサービスの見学 ・福祉用具体験	夏期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サマーフレンド (9館合同)	学齢期障がい児の余暇支援を行うとともに、障がい児をサポートするボランティアの育成および福祉体験学習の場としても機能させる。また、区社協、区内9ケアプラザの協働で事業を展開することで、金沢区の障がい児支援事業の更なる向上をめざす。 ・体を動かすゲーム ・工作 ・スイカ割り ・打楽器演奏	夏期・2回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ラジオ体操講習会	ラジオ体操を通じて、地域の方の健康づくりと交流の場の提供を目的とする。 ・「ラジオ体操」講習会	夏期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サマーフレンド (釜利谷地域ケアプラザ)	学齢期障がい児の余暇支援を行うとともに、障がい児をサポートするボランティアの育成および福祉体験学習の場としても機能させる。また、区社協、区内9ケアプラザの協働で事業を展開することで、金沢区の障がい児支援事業の更なる向上をめざす。 ・からだところ遊び ・お店やさんごっこでミニパフェ作り ・自由遊び	夏期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
医療講演会 放っておくと怖い 高血圧	講演会を通じて、病気の早期発見や予防に役立てていただく。 ・「高血圧」についての講演会	秋期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
かまりや英語クラブ	外国語の習得を通じて世界を広げていただくとともに、交流の場ともしていただく。 ・英会話 ・英語遊び	後期・6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
医療講演会 白内障の手術の話	講演会を通して、今後の治療の参考にしていただく。 ・「白内障」についての講演会	秋期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ピラティス教室	ピラティスを通して日頃の健康づくりに役立てていただくとともに、将来的にはボランティアとしても活動していただく。 ・ピラティス教室	後期・8回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
3食しっかり食べましょう	これから成長していく子を持つ母親を対象に、体にいい献立や楽しい食事について知っていただく。 <ul style="list-style-type: none"> ・栄養士からのほなし ・メニュー紹介 ・試食 ・人形劇 	秋期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
怒鳴らない子育て講演会	子どもが言うことを聞いてくれない、しつけをどうしたらよいか。怒鳴ってしまう、叩いてしまう・・・など、子育てに困っている方向けに、アメリカで開発された児童虐待防止プログラムを提供する。 <ul style="list-style-type: none"> ・講演会「怒鳴らない子育て」 	秋期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子de体操講習会	親子でストレッチをしながら、体のこりや痛みを和らげ、心身ともにリフレッシュしていただく。 <ul style="list-style-type: none"> ・親子体操 ・母親向けのストレッチ 	秋期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ウォーキング講習会	ウォーキングにより、身心の健康づくりを意識していただくとともに、仲間作りの場としていただく。 <ul style="list-style-type: none"> ・”正しい歩き方について”の講義 ・ウォーキング（釜利谷緑道） 	秋期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
手話ダンスとミニコンサートを楽しむ会	高齢者の健康づくりと交流の場の提供を目的とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・手話ダンス ・ミニコンサート 	秋期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
かまりや一の	「これからも住み慣れた地域で安心して暮らしていくにはなにがあったらいいか」を地域全体で話し合い実現していく。 <ul style="list-style-type: none"> ・「これからも住み慣れた地域で安心して暮らしていくにはなにがあったらいいか」について様々な手法を用い話し合いを行う。 	半期・1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
終活セミナー 全3回	自分らしい人生の最期を迎えるために準備できることを考えていく。 ・「自分らしいお葬式とお墓」をテーマに自分らしい人生の最期を迎えるために準備できることを考える。 ・成年後見制度 ・高齢者のための住まいの選び方	後期・3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
釜利谷保育園 認知症サポーター 養成講座	保育園児と保育士を対象に、高齢者や認知症の方の理解につなげる。 ・釜利谷保育園の年長児と保育士に向けての認知症サポーター養成講座	秋期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
かまりやサロン	参加者がさまざまな情報が得られ、心理的な不安の軽減・心のよりどころとなる場所の提供。サロンに出向くことで地域や社会とつながり、友人や仲間づくりの場を作る。また、医療、福祉、介護の専門職とつながることで認知症の方の変化に早く気づき適切な処置を受けることができる。 ・相談 ・情報交換 ・交流の場の提供	後期・4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアマネスキル アップ研修	ケアマネジャーのスキルアップを目指す。 ・「高齢者虐待について」気づきの視点と気がついたあとの対応について。	秋期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
森の小道やまなみ	サロンを開催することにより、食・居場所・世代を越えた交流の場の提供を行うとともに、ボランティア育成やケアプラザを身近な相談の場として知っていただく機会としたい。また、学生の職業体験・福祉体験・社会体験の場としても機能させたい。 ・会食 ・ミニ講座 ・フリースペース ・相談	後期・2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
簡単ストレッチ講座	高齢者の健康づくりと交流の場の提供を目的とする。 ・椅子に座ったストレッチ	冬期・1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子音楽会	<p>小さなお子さんと保護者を対象に、身近で本格的な音楽に触れる機会と、気兼ねなく音楽を楽しんでいただく場の提供を行う。また地域とのつながりをつくる場ともしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弦楽四重奏を楽しむ 	冬期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域でできること 私たちにできること～大切な心と体を守り良好な人間関係を気づくための性教育・安全教育～	<p>講演会を通して障がい者理解と支援者の育成を目的とする。また、”地域でできることや、自分自身にできること”を考えるきっかけともしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性教育についての講演会 	冬期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
横浜子育てサポートシステム入会説明会	<p>地域の中で子どもを預けたい人と預かる人をつなぐことで人と人のつながりを広げ、地域全体で子育てを応援する仕組みを築く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子育てサポートシステム」入会説明会 	冬期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
医療講演会～心臓病の方も自宅でできる運動療法～	<p>心臓に負担のかからない運動方法を知ること、病気をもちながらも体力維持ができる方法を学んでいただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「心臓病の方も自宅でできる運動療法」についての講演会 	冬期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
よこはまシニアボランティア登録研修会	<p>生活圏でシニアボランティア登録会を開催することで、ボランティアの啓発に努めるとともに、ボランティア活動を身近に感じていただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シニアボランティアポイント登録説明会 	冬期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座 関東学院大学	<p>学生を対象に認知症サポーター養成講座を開催することで、認知症を正しく理解していただくとともに、支援する応援者に繋げたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症講座 ・若年性認知症の方による講話とギターでの弾き語り 	冬期・1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座 赤井北部町内会	赤井北部町内会の住民を対象に、認知症について正しく理解し、認知症の人と家族を温かく見守り、支援する応援者を養成する。 ・認知症講座 ・認知症についてのDVD鑑賞	冬期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座 阿王ヶ台自治会	阿王ヶ台自治会の住民を対象に、認知症について正しく理解し、認知症の人と家族を温かく見守り、支援する応援者を養成する。 ・認知症講座 ・認知症についてのDVD鑑賞	冬期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出張講座 赤井北部	地域に出向きケアプラザ周知と地域の方との交流を図るとともに、介護予防の啓発と介護保険利用についての説明を地域に出向いて行う。 ・ケアプラザについて ・地域包括支援センターについて ・介護予防について ・介護保険の申請について ・施設の種類について	冬期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
職業体験 富岡中学校	将来の進路決定にあたって、広い視野で真剣に臨む心と、福祉を通しての社会を知るきっかけとしていただく。 ・デイサービスでの体験	冬期・2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
福祉体験 並木中学校	福祉教育を通じて福祉を知るとともに、地域や異世代の人との関わりについて考えるきっかけとしていただきたい。 ・デイサービスでの体験	冬期・2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域実習 横浜市大看護科	地域看護活動の対象としての個人・家族・集団および地域・コミュニティの特性や健康課題の理解。 地域ケアプラザの事業や担当職種を理解し、地域包括ケアシステムの構築に果たす役割を考察する。 地域看護活動の対象としての個人・家族・集団および地域・コミュニティの特性や健康課題の理解。 地域ケアプラザの事業や担当職種を理解し、地域包括ケアシステムの構築に果たす役割を考察する。	冬期・4回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症講演会	認知症を予防する方法として、生活習慣病予防することが大切という事を学び、今日から出来る事を実践出来るようにする。 ・認知症の予防を中心とした講演会	冬期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防ウォーキング教室	正しい姿勢と歩き方を身につける事により介護予防になる事を学び、高齢者に発信出来るようにする。 ・姿勢を整え正しいウォーキング法の体験	冬期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数